

## 農業版事業継続計画書 簡易版

<b>策定・改定日</b>	2022年3月3日	(従業員・家族共有日 原則策定・改定日から1ヶ月以内)	2022年3月11日	次回改定予定日 (原則1年毎に改定)	2023年3月11日
<b>想定リスク</b>	強風・突風、大雪による園芸施設への直接被害。豪雨・長雨によるほ場やほ場・施設への直接被害。インフラ等への被害による収穫・調整・出荷作業への悪影響。				

### 1. 基本方針

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	各人の安全を最優先とする
2	食料供給者としての供給責任を果たす
3	雇用保持

### 2. 重要業務と目標復旧時間

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

<b>重要業務</b>	収穫・出荷調整
<b>目標復旧時間</b>	48時間以内

### 3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	灌水・施肥・温度管理ができない	自家発電機(作業場保管)の利用
ガス	影響なし	
水道(農業用水含む)	灌水作業・衛生管理等に支障	井戸水・貯水タンクの使用
情報通信	関係者との連絡手段の途絶	携帯電話で対応(LINE/WhatsApp)
交通	集荷・出荷ができない	事前に対象者と代替ルートを調整
ほ場等	農作物に被害が出る	収穫や管理の柔軟な対応
その他		

### 4. 事前対策の実施状況

分類	項目	
ヒト	安否確認手段	LINE/WhatsApp 連絡体制 代表者から全員に安否確認
	避難場所	状況把握までその場にて待機・必要ならば事務所帰宅
	欠員時の対応	あらゆる形態での臨時雇用者の確保(家族・血縁者含む)
	その他	
モノ	設備使用不可時の対応	非常用電源の稼働、ハウス施設倒壊等の際は代替生産品目の検討
	調達支障時の対応	規定使用資材の調達ルートの分散化・想定危害分の資材ストック
	その他	被覆資材とハウス用パイプ等は全面積の3%相当を確保しておく
カネ	手元資金	●円(●銀行)
	その他	備考
セーフティネット	保険加入	収入保険、火災保険(民間)加入
	その他	備考 保険証券は●保管
情報	重要情報保管場所	クラウドを利用(PWは代表が管理)
	PC等使用不可時の対応	バックアップデータを●にて保管(バックアップ最終更新・最低1回/月)
	その他	関係機関の連絡先や担当者を把握し、連絡担当者が一覧化して携帯電話等に保管
地域連携	JAと被災時の出荷については随時対応を確認している	

### 5. 緊急時の体制

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
代表(妻)	妻(Aさん)

#### 【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生～24時間以内)

##### ○状況確認

確認対象	担当者
役員・従業員	家族を含めた安否確認 代表
建物・設備	ITを含む状況 代表
その他事業資源	肥料・飼料・農業等の在庫 妻
取引先	状況確認 代表
インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況 Aさん
その他	

##### ○備蓄品の状況

救急箱	2セット	その他: 簡易トイレ	20セット
飲料水	2L×20本	その他: 懐中電灯	5個
食料	従業員数×7日分	その他: 毛布	5枚
ヘルメット	5個	その他:	

##### ○出勤・帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	【原則】作業場内待機
在宅時	【原則】自宅待機
その他	

#### 【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後～)

##### ○重要業務継続の具体的方法

対応手順	担当者
①現状把握(発生から～36時間以内) ・農業用ハウス及び胡瓜の被害確認 ・農業機械(運搬車両等)の被害確認 ・対応可能従業員の確認	責任者:代表 代表 妻 妻
②作業準備(発生～42時間以内) ・農業用ハウスの資材確保、復旧体制構築 ・農業機械の損害確認・修理とうの準備 ・従業員への指示 ・取引先への現状報告	責任者:代表 代表 代表 代表 代表
③収穫・出荷調整作業(発生～48時間以内) ・農業用ハウスの復旧(ハウス被災時) ・収穫・調整作業及び出荷の実施 ・収穫状況に応じた出荷対応方針決め ・取引先への出荷報告	責任者:代表 全員 全員 代表 代表

#### BCP策定後の運用

日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。